

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【公開番号】特開2015-70200(P2015-70200A)

【公開日】平成27年4月13日(2015.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2015-024

【出願番号】特願2013-205137(P2013-205137)

【国際特許分類】

H 01 S 5/042 (2006.01)

H 01 S 5/022 (2006.01)

【F I】

H 01 S 5/042 6 1 2

H 01 S 5/022

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板上に順に配置された第1導電型の半導体層、活性層、第2導電型の半導体層を有する光閉じ込め構造と、光出力側に向けて配置される第1端面と、前記第1端面と対向した第2端面と、前記第1端面と前記第2端面とが対向する方向における中央が、前記第1端面と前記第2端面の距離の半分よりも前記第2端面に近い位置に配置され、前記第1導電型の半導体層あるいは前記第2導電型の半導体層の何れか一方と接続された第1電極パッドと、前記第1電極パッドよりも前記第1端面と前記第2端面とが対向する方向において長く延在し、前記第1導電型の半導体層あるいは前記第2導電型の半導体層の何れか他方と接続された第2電極パッドと、を備える半導体レーザチップと、

前記半導体レーザチップの前記第2端面の後方に配置された駆動用ICチップと、

前記第2電極パッドの前記第2端面側の領域と前記駆動用ICチップの変調器信号端子とを接続する第1ワイヤと、

前記第1電極パッドと前記駆動用ICチップの基準電位端子とを接続する第2ワイヤと、

前記第2電極パッドの前記第1端面側の領域と前記駆動用ICチップの直流端子とを接続する第3ワイヤと、を備えることを特徴とする半導体レーザ装置。

【請求項2】

前記基準電位端子から前記第1電極パッドに入力される信号は、前記第2電極パッドに入力される変調信号と逆相の変調信号であることを特徴とする請求項1記載の半導体レーザ装置。

【請求項3】

前記半導体レーザチップが搭載された搭載部を備え、

前記第3ワイヤは、前記第1電極パッドと前記搭載部に設けられた接続用パッドとの間に接続されたワイヤと、前記接続用パッドと前記直流端子との間に接続されたワイヤと、によって構成されていることを特徴とする請求項1または2記載の半導体レーザ装置。

【請求項4】

基板上に順に配置された第1導電型の半導体層、活性層、第2導電型の半導体層を有す

る光閉じ込め構造と、

光出力側に向けて配置される第1端面と、

前記第1端面と対向した第2端面と、

前記第1端面と前記第2端面とが対向する方向における中央が、前記第1端面と前記第2端面の距離の半分よりも前記第2端面に近い位置に配置され、前記第1導電型の半導体層あるいは前記第2導電型の半導体層の何れか一方と接続された第1電極パッドと、

前記第1電極パッドよりも前記第1端面と前記第2端面とが対向する方向において長く延在し、前記第1導電型の半導体層あるいは前記第2導電型の半導体層の何れか他方と接続された第2電極パッドと、を備えることを特徴とする半導体レーザチップ。